

楽しむ

volume

90

2022年春号

《特集》

商店街と暮らす

～第8回大阪市ハウジングデザインシンポジウム
「商店街と暮らす～都市居住の魅力を考える～」を経て～

大阪くらしの今昔館news
近代大阪と商店街 今昔館の模型・2景から
漆×造形

住まいのライブラリー通信
リサイクルブックフェアを開催しました！

大阪市住まいのガイド
借りる・買う・建てる・建て替える
各種住宅施策のご案内

〈今月の表紙〉
大阪市立住まい情報センターと天神橋筋商店街

商店街と暮らす

～第8回大阪市ハウジングデザインシンポジウム「商店街と暮らす～都市居住の魅力を考える～」を経て～

外食をしたり、買い物をしたり…道の両脇に立ち並ぶ多様なお店。見て歩くだけでも楽しい商店街は、人々の生活に寄り添ってきました。2月20日に開催された第8回大阪市ハウジングデザインシンポジウムにちなみ、当センターが立地する天神橋筋商店街でお話を伺いました。

商店街だから楽しい 天神橋筋商店街を ぶらり歩き

江戸時代、明治期を経て、令和の時代へ。
積み上げてきた信頼

國重刃物店 8代目店主 水田裕隆さん

まず訪れたのは、店頭にずらりと並ぶ刃物が目を引く「國重刃物店」。刀鍛冶だった祖先が約240年前に大阪・天満に移り住み刃物店を始めた。地域では、包丁を買うなら國重で、といわれ、信頼されている商店だ。明治初期に天神橋筋商店街が誕生してから、裁ち包丁、鋏、花鋏や剪定鋏など近隣の工場や、職人向けの刃物を扱い、近年では家庭用・料理人向けの包丁を主流に扱う。「職人からの詳細な要望にも細かく対応しています」と水田裕隆さん。遠方の職人からも注文が届く。長い年月を経て高い品質へのこだわりは続く。



國重刃物店 8代目店主 水田裕隆さん。
「幼い頃は土日の商店街は静かで、親父とキャッチボールができました」



店内、店外には、さまざまな種類の包丁や布用、植物用の鋏、彫刻刀などが1000本以上並ぶ。コロナ禍以前には日本の刃物に関心のある多くの外国人観光客が立ち寄ったそう。

大阪が誇る、全長約2.6kmの日本で一番長い商店街「天神橋筋商店街」。天神祭で有名な大阪天満宮の門前町として古くから栄えてきました。賑わいの秘訣はどこにあるのでしょうか？日常的に商店街を利用しているあんじゅ編集者が、商店街でお店を代々営まれている店主の方々にお話を伺います。

あんじゅ編集者プロフィール



編集者O: 商店街から徒歩3分の場所に居住。仕事帰りに商店街を歩くと「帰ってきたな」という安心感がある。クリーニング店の店員と仲よし。



編集者K: 住まい情報センター職員。仕事終わりや休憩時間に商店街で日用品の買物をするのが日課。昼食は、商店街の飲食店で楽しむ。



昭和31年創業の婦人服店「レモンヒルズ」を営んでいる(3代目店主)

親子三代で通える、 商店街に

天神橋筋商店会 総務副部長
佐藤暢大さん

「戦後、天神橋筋商店街は大きく栄えました。当時はどの商店も皆一國の主で、その分商店街への思い入れも強かったと祖父から聞いています。テレビなどの影響で奇抜な印象を持つ方も多いですが、行動範囲が限られた高齢者にとっては、この商店街が生活を支え、「見守り役」でもあります。

「こんな商品ない？」気軽に言える雰囲気があるにはあります。対面で商品を買う醍醐味がコミュニケーションにあるのでしょうか。いつまでも人とのふれあいが残る商店街でありたい。アーケードを歩くと新旧の店が混在する風景も面白く、催しも多く飽きさせません。お店を巡って会話をしながら、買い物や食事を楽しんでほしいです。親子三代で通える商店街を作っていきたいです」

活気のある商店街であり続けたい ハウスかねぎ 鈴木崇司さん

続いてやってきたのは、キッチン用品を中心に雑貨・日用品を扱う「ハウスかねぎ」。「この活気のある商店街を守りたい。様々な店があるごった煮の商店街が天神橋筋商店街の味。ここならではの楽しさを感じたい」と店主の鈴木崇司さんは話す。鈴木さんは、天神橋筋六丁目商店街事業部長を務め、店主同士の交流にも力を入れている。「顔がわかれば、自然と挨拶する。働く人同士の交流も商店街の活気につながります。」鈴木さんは快活に笑った。

古くからの 人づき合いを大切に エスエス薬局 4代目店主 阪和則さん

最後に訪れたのは、店頭のPOPが楽しい、大正12年創業の調剤薬局「エスエス薬局」。希少な商品もあり、体質に合わせて選べる品揃えだ。「買い物ついでに健康相談に立ち寄るお客様もいます。長く続く商店街ならではの関係性ですね。祖父の想いを継いで、不安な時に気軽に頼れる、まちの薬局さんになれたら」と阪和則さん。「同じく薬剤師の母にはたくさんのお客様がいます。私はまだまだ。」心の通った交流と信頼関係が築かれている。



1.(右から)ハウスかねぎ5代目店主鈴木崇司さんとお母様の雅子さん。2.明治10年の創業当時は、建築資材などの金物商品を扱っていた。「先代の頃までは、職人が現場に行く前にお店に立ち寄って、用具を揃えて行ったと聞いています」3.4.ファンシーな雑貨のラインナップに足を止める子どもたちの姿も。



1.エスエス薬局4代目の阪和則さん。勤めていた東京の製薬会社を5年前に辞めて、後を継いだ。2.阪さんが幼い頃まで、商店街の中では唯一の薬局。皮膚薬と毛髪薬をメインに取り扱っていた。3.顧客名簿のファイルがぎっしり。古くからの常連さんから、転居した後薬の調合依頼を受けることがあるという。

皆さんの言葉から感じたのは、商店街で交わされるコミュニケーションの濃さだ。天神橋筋商店街に残っている、商売を通して人と人が関わり合う風土。何気なく利用している商店街に染み込んだ歴史を知って、明日からの買い物をもっと楽しくなりそうだ。



商店街と暮らす



線路跡地にあるBONUS TRACK。隣接している区道は散歩道として、近隣に住まう住民にも活用されている。



訪れる年齢層は30~40代のファミリー層が40%を占める。「BONUS TRACK新聞」を毎月発行し、近隣3000世帯へのポス্টインなども行っている。

※1:2022年2月20日現在 ※2:諸経費および公益費は除く

BONUS TRACKには、開店希望の声も多く届く。今後はテナント入居者のomusubi不動産と連携し、周辺エリアも含めた空き家のマッチングも考えている。BONUS TRACKをハブに地域が面白くなり、まち自体の景色が変わればと未来を見据える。

近年、下北沢駅周辺の賃料高騰により、個性豊かな小売店が減少するにつれて大手によるチェーン店が増加し、かつての下北沢らしさが失われつつある。個人が小商い(スモールビジネス)を始めやすい環境を作り、下北沢らしい街並みを未来へ引き継ぐため、坪2万円※2という賃料に設定し、チャレンジのハードルを低くした。

チャレンジを促していくスペースに

インターネット上で完結してしまう商売を、リアルな場を運営している強みとして、コーヒーを買いに来たら、発酵食品のお店が目についたなど、普段の生活では出会えない店舗や商品と出会うという、日常的な体験の中に創造的な体験を提供できる場所と捉えている。

インターネット上で完結してしまう商売を、リアルな場を運営している強みとして、コーヒーを買いに来たら、発酵食品のお店が目についたなど、普段の生活では出会えない店舗や商品と出会うという、日常的な体験の中に創造的な体験を提供できる場所と捉えている。

ライブハウス・演劇・古着屋などの小売店が多く集まる下北沢。エリア内には6つの商店街があり、個性豊かな小売店が連なった独特の街並みがある。店同士のコミュニティも強く、サブカルチャーが育まれてきた場所だ。小田急線の地下化によって2020年に生まれた新しい「街」下北線路街は、街を一変させる開発ではなく既存の街を支援する開発がコンセプト。その一つとして、下北沢駅と世田谷代田駅のちょうど間に、4月BONUS TRACKが誕生した。

BONUS TRACKを運営する株式会社散歩社は、計画段階から参加し、テナント入居者でもある。現在入居しているのは、13店舗※1。日本各地の発酵食品を集めた「発酵デパートメント」、日記の専門店「日記屋 月日」など個性豊かな他にはないお店があるとして「新しい商店街」と銘打った。

下北沢カルチャーを踏襲しながら、新しい商店街へ

BONUS TRACK (ボーナストラック)
運営者:株式会社 散歩社

登壇者

さくらぎあやか
桜木彩佳さん

「BONUS TRACK」を運営する株式会社散歩社の企画総括ディレクターの桜木彩佳さん。音楽イベント制作や舞台制作に長く携わってきた。両親が大阪生まれ。現在祖母が大阪に住む。



人の流れを生み出す、ニュー商店街

大型の商業施設やオンラインショッピングの台頭による商売の変化、経営者の高齢化、担い手の不足など様々な課題を抱え、空き店舗が増加するなど「商店街」の存在が問われています。しかし、商店街で育まれる利用者や周辺地域とのかかわりは「強み」ではないでしょうか。その商店街のポテンシャルを感じ、活動フィールドに選んだ若者の取り組みを「紹介」します。第8回大阪市ハウジングデザインシンポジウムに登壇いただいた「BONUS TRACK(東京)」と「one Lab.(大阪)」(大阪)の運営者による事例紹介とトークセッションを辿りながら、商店街を切り口に、都市居住の魅力について考えます。

三泉商店街に生まれた秘密基地。若者集まれ!

on:e Lab. (ワンラボ)
運営者: on:e Lab. (大阪・大正区)

登壇者

ひらまつこうすけ
平松孝介さん

「one Lab.」の代表である平松孝介さん。2020年に三泉商店街「のきさきあるこ」に参加して、秘密基地「one Lab.」の立ち上げを決意した。愛知県出身。



入居者はon:e Lab.で実施したDIY参加者の中から決定。2022年2月現在、シェアハウスは満室。国際色豊かな20代の若者たちが日々交流を深めている。

2020年度に開催した「のきさきあるこ」は、4日間で来場者数約8300名、出店者数58店舗となった。大正区で生まれた、(一社)大正・港エリア空き家活用協議会が発起人。まちの中心にある商店街に人を呼び込み、賑わいを作ることが大きな目的だ。



※3:総務省「住宅・土地統計調査」2018年

「one Lab.」を始めて、同世代から飲食店起業希望の相談もあった。こういう声を拾い、地域やのきさきあるこ実行委員メンバーと連携しながら、今後商店街の中で形にしていきたいら」と平松さん。on:e Lab. 入居者の要望で、共用スペースに設けられたバーカウンター。今後はこの場を活用して語り、アイデアを紡いでいく予定だ。

若者が活躍する場をつくる

未経験でもon:e Lab.を立ち上げられた理由は二つある。一つは、のきさきあるこ実行委員メンバーから、DIYのノウハウ、資金援助や事業収支計画の支援を受けたこと、もう一つは、参加者を募ってDIY工事プロセスを共有し、オープンラボにて立ち上げへの思いを伝えることで、一緒に活動する仲間ができたことだ。

ある。シャッターが下ろされた三泉商店街の軒先を活用し、近隣の飲食店、雑貨店や子ども向けの催しなどが屋台で出店。one Lab. 代表の平松孝介さんが2020年の「のきさきあるこ」に参加したことで、商店街の空き家に出会い、三泉商店街との関わりが始まった。

運河に囲まれた島状の地形である大正区。少し足を伸ばせば、水辺の豊かな風景も楽しめる立地だ。明治初期には紡績・造船産業などが盛んで、工場労働者などが住み働き賑わっていた。現在は大阪市24区の中でも最も人口が少なく、住宅の空き家率約20%※3で高齢化も進んでいる。

2021年に誕生したon:e Lab. は、三泉商店街の空き家を活用した、若者向けのシェアハウス兼ワークショップベースだ。同世代同士の異なる文化と価値観が交わることで新しいアイデアを生み出す実験場となることを目指す。



電気屋の上にあることを意味する「on electricshop」と誰にも負けない一つの武器「one」、そして、実験場という意味の「Lab」を掛け合わせた造語。アイデアをコミュニティで形にする実験の場を目指している。



元線路跡地「トラック」に、ボーナス的(特別)に生まれた場所。また、CD音盤における余白「ボーナストラック」とも重ねて、余白のような場所として、様々な人にやりたいことを自由に表現してほしいという思いが込められている。

【編集者まとめ】

両者それぞれ誕生の背景や周辺環境の違いはあれど、新しいことを始めたい人を応援し、コミュニティを形成しながら、地域に賑わいを還元することを軸にしている。地域との関わりが求められる商店街という形態だからこそ叶えられる、新しい流れが生まれている。

【「大阪市ハウジングデザインシンポジウム」参加者の感想】

- ・新しくできた商店街と古くからある商店街という二つ異なる事例をもとに話が聞けて興味深かった。
- ・30代前後の方々が、社会との繋がりを意識してその懸け橋になろうとしている姿に感銘を受けました。今後は世代を超えた人同士の繋がりが重要になると考えています。このような取り組みを続けて行く若い方に協力が出来ればと思います。

大阪市立 住まい情報センター

のご案内

相談専用電話 (06) 6242-1177

住まいに関するご相談をお受けして
ます **無料**

住まいの相談
(随時/窓口相談・電話相談)

公的賃貸住宅などの住まい探しをはじめ、住まいを購入するときや建てる際の一般的な注意点を分譲マンション管理に関する情報や大阪府を中心とした住宅施策などに関する質問に、窓口または電話で相談員が対応します。まず相談内容をお聴きして、問題点の整理・解決のために必要な知識や情報を提供します。英語・中国語、韓国・朝鮮語にも対応します。(外国語対応は17時まで)

住まいの専門家相談(予約制/面接相談) ご予約は30日前からお受けしています。

お申込みの際は、相談員が一般相談で内容をうかがってから予約します。詳しくはお問い合わせください。

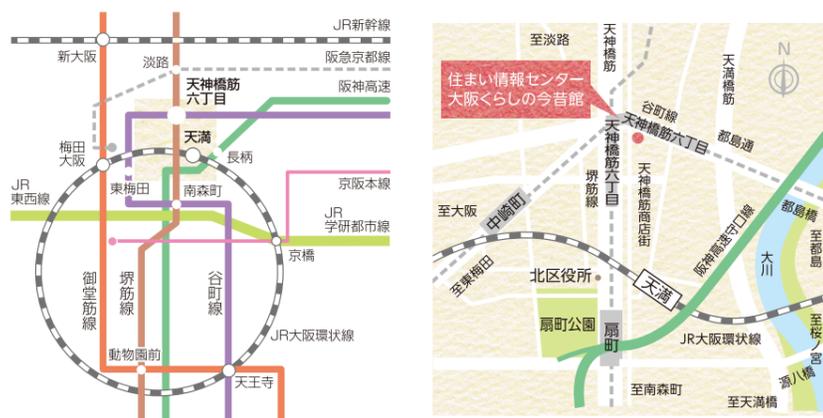
専門家相談日時	内容
住まいの法律 概ね毎週土曜日 (10時~13時30分)	借家・借地・土地・建物・相続等に関する法律上の相談(弁護士)
住まいの資金計画 隔週土曜日 (10時30分~12時)	住宅取得やローン返済、高齢期の住まいと暮らしに関する資金計画等(ファイナンシャルプランナー)
建築・リフォーム 隔週土曜日 (10時~13時)	建築設計や施工上の問題・建築関係法令等(建築士)
分譲マンション(法律) 概ね月1回日曜日 (13時~16時)	管理組合運営・管理規約等に関する法律上の相談(弁護士)
分譲マンション(管理一般) 概ね毎週木曜日 (14時~18時)	管理組合運営・管理規約・長期修繕計画等に関する相談(マンション管理士)

連携機関による定期相談(面接相談)

(公社)大阪府建築士会による建築相談:
毎週日曜日13時~16時(受付は当日の12時30分~15時30分)
※12時30分に相談を受ける順番の抽選があります。

近畿税理士会による税務相談(予約制):
毎週土曜日(但し、2・3月を除く)13時~16時
(TEL.06-6242-1177で予約受付)

インフォメーション



〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20 大阪市立住まい情報センター4階
TEL.06-6242-1160 FAX.06-6354-8601
おおさか・あんじゅ・ネット <https://www.osaka-angenet.jp/>

※新型コロナウイルス感染症拡大の防止等、やむを得ない状況により変更になる場合がございます。
※ご利用の際は、マスクの着用や、手指消毒、他の方との距離を最低1mに保つなど、対策にご理解、ご協力をお願いします。



住まいのライブラリーで図書・雑誌などを利用できます **無料**

住まいや暮らし、大阪に関する図書、建築本や雑誌、機関誌、ミニコミ誌、企業広報誌、絵本などを自由に閲覧していただけます。また、図書の貸し出しも行っていきます(一部を除く)。

ホール・研修室をイベントや展示会・サークル活動・会議・研修会の場としてご利用いただけます **有料**



3階 ホール
定員:机利用の場合/150席
椅子のみの場合/300席
※控室もあります。



5階 研修室
定員:机利用の場合/54席
椅子のみの場合/70席
※研修室は区切って、少人数でもご利用いただけます。

※大阪府の感染拡大予防のガイドラインに基づき、使用人数を変更しております。詳しくはお問い合わせください。

- 交通アクセス**
- Osaka Metro谷町線・堺筋線、阪急電鉄[天神橋筋六丁目]駅下車3号出口直結
 - JR大阪環状線[天満]駅から北へ約650m
 - お車でお越しの場合は阪神高速道路[守口線]長柄出口 都島通り経由、約500m

- 開館時間**
- 4階 住情報プラザ(相談・ライブラリー)
平日・土曜日/9:00~19:00
日曜日・祝日/10:00~17:00
 - 3階 ホール/5階 研修室・会議室
平日・土曜日/9:00~21:00
日曜日・祝日/9:30~17:00

- 休館日**
- 火曜日(祝日の場合は翌日)
 - 祝日の翌日(日曜日、月曜日の場合を除く)
 - 年末年始(12/29~1/3)
- ※上記のほか臨時休館する場合があります。

特集

商店街と暮らす



トークセッション 「商店街と暮らす」 (オンライン開催)

桜木 彩佳さん(株式会社散歩社企画統括ディレクター)
平松 孝介さん(online Lab. 代表)
高田 光雄さん(博士(工学)、京都美術工芸大学教授/京都大学名誉教授)

高田 お互いの取り組みについて、質問しながら進めていきましょう。桜木さんいかがですか。

桜木 若者が少ない地域に、あえて若者の拠点を作ったことがすごいですね。若者が少ない地域だからこそ、支援してくれる人がいるのだと感じます。入居者のモチベーションや、今後の展望はいかがでしょう。

平松 子どもの居場所を作りたい人や、空き家再生に興味がある人などが入居してくれました。思いはそれぞれですが、この場所ならつながりができ、チャレンジできると感じてくれています。展望についてはまさに、「これからの5年」をテーマにしたイベントを計画中です。

高田 online Lab.の取り組みについては、強力な応援団がいることが強みですね。入居者でなくても応援はできますので応援団を増やすことが大事。今後は平松さん自身が応援者になることが重要ですね。

BONUS TRACKについても、地域との関係性や、先ほどポジティブな面での展望はお聞きしましたが、これから20年を考えると不安要素はありますか。

桜木 夜遅くまで明るいことや、区道が整備されたことで、若者が夜まで楽しむなどの問題が発生することがありました。そういったことは小田急さんとも相談し解決を目指しています。その他、突然テレワークをすることになった方にとって憩いの場になったことや、近隣で飲食店をされている方にテイクアウトの商品を販売する場所を提供したことについて、喜びの声を

直接聞いています。

今は誕生して2年目、「新しい」とまだ言えますが、時間が経ち、あることが当たり前の風景になって、下北沢の風景や人が変わっていったときにどう対応していくか、不安はあるが楽しみな部分でもあります。

高田 お話にあった問題については、若い人たちと中高年者のライフスタイルの違いが重なることで起こる、多世代交流の課題と言えそうですね。桜木さんご自身は下北沢という地域のポテンシャルは高まると考えている、と感じますが。

桜木 いわゆる若者のまち、単価感が安いという印象から、スタイリッシュなものや質が高く単価が高いものを受け入れられるムーブメントがまち自体にも起こっている境目であると感じています。まちの色が増えたらいいと思っています。

高田 なるほど。一方、三泉商店街は放っておくと大変な状況になりそうですが、いかがですか。

平松 危機的な状況ですが、少しずつですが若い人の出店が起っています。若い人たちが受け入れられる雰囲気発信していくことが僕たちの役目だなと。DIYの様子を動画で配信したところ、早速、工房として使えないかと問い合わせがありました。

高田 若者に向けた取り組みを次々と打ち出していくことが求められますね。

今日は、若い人たちが、難しいことを乗り越えながら、展望を持ち実践している有意義なお話が開けました。ありがとうございました。

※誌面の都合上、第8回大阪市ハウジングデザインシンポジウムの内容を編集して掲載しています。

コーディネーター

たかだみつお
高田光雄さん 博士(工学)。一級建築士。京都美術工芸大学教授/京都大学名誉教授。大阪市ハウジングデザイン賞選考委員有識者会議座長。居住文化を育む住まいまちづくりの実践的研究を続けている。



大阪市立 住まい情報センター セミナー・イベントガイド 2022年

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、定員の変更やセミナーを中止する場合がございます。その場合は「おおさか・あんじゅ・ネット」等でお知らせします。

1 住まい情報センター 主催イベント

住まい情報センターが主催するセミナー・イベントです

■住まいの基礎知識

◎住まいを購入する(全7回)

第1回 住まいのお金編1

「資金計画と住宅ローン」

個別相談のみ当日抽選

- 日時: 4月23日(土) 13:30~15:30
- 場所: 3階ホール
- 講師: NPO法人 日本FP協会大阪支部所属FP
- 定員: 会場50名オンライン100名 (いずれも申込先着順)
- 個別相談: 定員4組(事前申込要)

第2回 住まい探し編「はじめての住宅購入 ~自分に合った住まい探し~」

- 日時: 5月14日(土) 13:30~15:30
- 場所: 3階ホール
- 講師: (一社)大阪府宅地建物取引業協会研修インストラクター
- 定員: 会場50名オンライン100名 (いずれも申込先着順)

第3回 戸建て住宅編

「戸建て住宅を購入する(新築・中古)」

- 日時: 5月28日(土) 13:30~15:30
- 場所: 3階ホール
- 講師: (一社)大阪府宅地建物取引業協会研修インストラクター
- 定員: 会場50名オンライン100名 (いずれも申込先着順)

第4回 分譲マンション編

「分譲マンションを購入する(新築・中古)」

- 日時: 6月4日(土) 13:30~15:30
- 場所: 3階ホール
- 講師: (一社)大阪府宅地建物取引業協会研修インストラクター
- 定員: 会場50名オンライン100名 (いずれも申込先着順)



第5回 リフォーム・リノベーション編 「中古住宅をリフォーム・リノベーションして住む」

- 日時: 6月19日(日) 13:30~15:30
- 場所: 3階ホール
- 講師: (公社)日本建築家協会 近畿支部
- 定員: 会場50名オンライン100名 (いずれも申込先着順)

第6回 住まいの契約編「重要事項説明と契約」

- 日時: 7月2日(土) 13:30~16:00
- 場所: 3階ホール
- 講師: 国土交通省 近畿地方整備局、(一社)大阪府宅地建物取引業協会研修インストラクター
- 定員: 会場50名オンライン100名 (いずれも申込先着順)

2 住まい情報センター タイアップイベント

住まい情報センターと住まい・まちづくりの専門家団体等が共催するセミナー・イベントです

■チャレンジタイアップセミナー

シロアリ・木材腐朽から住まいをまもる! 「わが家の健全度・セルフチェックシート」まるごと解説!

- 日時: 6月11日(土) 13:30~15:30
- 場所: 3階ホール
- 講師: 藤井義久(京都大学大学院教授)
- 定員: 会場50名オンライン100名 (いずれも申込先着順)
- 団体: (一社)住宅長期支援センター



過去には「タイアップ事業者」 「おまつり」「チェアリング」でのテーマの希望について回答がありました。ありがとうございました!



あんじゅ読者アンケートにご協力ください。



参加申し込み方法

- ウェブサイトからの申し込み
申し込みは開催日の約2カ月前からになります。
- はがきまたはFAXで申し込み
記入事項を明記し、下記の住所、FAX番号へお申し込みください。
〒530-8582(住所不要) 大阪市立住まい情報センター4F
FAX: 06-6354-8601
- 記入事項: イベント名、住所、名前(フリガナ)、年齢、参加希望日、電話番号、手話通訳希望の有無、個別相談希望の有無など
- 参加費は特記以外無料、要事前申し込み。申込先着順の場合は、定員になり次第締切。抽選の場合は、締切後も定員に満たない場合は引き続き募集します。
- 申し込みの際の個人情報は、主催者で適切に管理し、イベントに関する連絡、統計データおよびイベント保険(必要な場合)への加入にのみ利用します。

【注意】
一部のイベントを除き、参加証の発送はありません。「申込先着順」のイベントにお申し込みいただいた場合は、イベント開催当日、直接会場にお越しください。「抽選」の場合に限り、はがきかEメールで当落をお知らせします。

おおさか・あんじゅ・ネット
▶ <https://www.osaka-angenet.jp>



取材に快く応じてくださった皆様
にこの場を借りて改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

奇しくもコロナ禍により、遠方への移動が制限されるなど、生活圏内にある商店街が、再認識されることも多かったのではないのでしょうか。今号の取材の中で、「コミュニケーション」を求めて、店舗に来てくれるお客さんがいるというお話がありました。商品の売買という行動以上の体験が商店街にはあります。小売りの個店が立ち並ぶという姿は変わっても、「商店街」が姿を消すことは無い。私自身はそう感じました。

「商店街は、全国で12000以上存在し、小売業全体の年間販売額の約4割を占め、215万人の雇用を支える※。」とあります。一方、「年間販売額・事業所数・従業者数について、小売業全体と商店街の推移を比較すると、商店街の方が減少幅が大きくなっている※。」とのこと(※平成26年度商業統計)。そうした統計からは、商店街の役割は減少し、姿を消しつつある存在の様にも見えました。

あんじゅ
編集通信



毎年大好評の

リサイクルブックフェアを開催しました!



今年の参加者は、78人。コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、事前申込・完全入替制での実施。当日残った本は引き続き4階で希望者にお譲りしました。



参加された方へ感謝の気持ちをこめた手作りの干支(寅)しおりも毎年プレゼント。



住まいの
ライブラリー
通信

参加された方に聞きました!

住まいのライブラリーボランティア。あえて住宅以外の雑誌を毎年選んでいます。今年は、好みの情報誌をゲット!



芝川明義さん / 東住吉区在住



森山未来さん / 生野区在住

図書館でチラシを見て来ました。3歳の子ども向けに、住まいの絵本をいただきました。本が好きなので嬉しい試みでした。

住宅・建築の専門書や暮らしに関連する図書や雑誌などが、会場にずらり。2022年1月23日(日)、リサイクルブックフェアが開催されました。2012年からスタートして11回目。「住まいのライブラリー」で、役目を終えた図書、保存期限の終了した雑誌(寄贈された本の一部を再利用する目的で始まった企画です)が本を選ぶ目は真剣そのもの!毎回応募して、参加していただく熱心な方や、近々建てる家のイメージを広げるために、建築関連の雑誌を探しに初めて来場された方などさまざま。住まいに関するご相談や情報を発信する「住まい情報センター」の視点で選ばれた本は、センターでの役目を終え、必要な方たちのもとへ旅立っていきま

「住まいのライブラリー」ってどんなところ?

住まい情報センター4階



大阪のまちを眺めながら読書ができる窓際の閲覧席

「住まい・建築と「住むまち・大阪」をテーマに、図書・雑誌・機関誌等を収集、配架する専門図書館です。図書は約12000冊、雑誌等は126タイトルを所蔵※。大阪の地図や地形に関する本もあるので、大阪について調べたい時にも重宝します。住まいに関する児童書もおすすめ!3冊まで2週間、無料で借りられる(一部禁帯出)ので、住まいや暮らしの情報を集めたい方は、一度足を運んでください。

※令和3年3月末時点



担当者
おすすめ書籍!

新之介著「ぶらり大阪「高低差」地形さんぽ」
(140B, 2020年11月出版)

大阪市内・府下を合わせて34のエリアをピックアップしたエリアガイド。大阪のデコボコな地形を軽快な解説とともに、大阪の歴史や土地の誕生物語も楽しめます。大阪の地形に詳しくなれる一冊!新之介さんの新書「地形散歩のすすめ 凸凹からまちを読みとく方法」(学芸出版社, 2021年11月出版)も配架しています。



借りる・買う・建てる・建て替える

大阪市住まいのガイド

紹介している大阪市の公的賃貸住宅や各種制度について、より詳しくお聞きになりたい方はお気軽にお問合せください。



「おおさか・あんじゅ・ネット」からそれぞれの制度へリンクしています。

住まい情報センター
相談専用電話

TEL:6242-1177

空家の利活用を応援します!! 「空家利活用改修補助事業」実施中!!

補助要件

- 平成12年以前に建築された戸建住宅または長屋建住宅であること
- 不動産市場に賃貸用または売却用として流通しておらず、3か月以上空家であること
- 改修により一定の耐震性を確保すること、又は耐震性を有すること
- 利活用事例として、大阪府が情報発信することに了承できることなど



改修前



改修後

大阪市 空家 補助

検索



補助の種類	住宅再生型	地域まちづくり活用型
補助対象者	空家所有者(居住予定者)、空家取得予定者、賃貸予定者	非営利団体等(NPO法人、社会福祉法人、公益法人等)
補助内容	省エネ化やバリアフリー化といった、住宅の性能向上に資する改修工事費用の1/2(最高75万円)※	子ども食堂や高齢者サロンといった、地域まちづくり活動の場として活用するために必要な改修工事費用の1/2(最高300万円)※

※上記以外にインスペクション(既存住宅状況調査)や耐震診断・設計、耐震改修工事に要する費用にも補助があります。
問合せ:大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備 受付窓口(住まい情報センター4階)【電話】6882-7053 【FAX】6882-0877

住まいを借りる(公的賃貸住宅等)

- **市営住宅** ・住宅に困っておられる所得の低い方々向けの賃貸住宅です。原則として大阪市内にお住まいの方が対象です。
・収入基準は、一般世帯で 158,000 円以下、高齢者・障がい者世帯等で 259,000 円以下(月額所得額)となります。

募集種別(募集時期)	概要	お問い合わせ
定期募集等【抽選】 (例年7月上旬、11月上旬、2月上旬)	収入・同居親族等の条件があるほか、一般世帯・新婚・子育て・単身者向け等、各申込区分により申込資格を設定しています。一部の申込区分では、府内居住、市内在勤の方も申込みができます。	大阪市営住宅募集センター募集担当 ●TEL:6882-7024 ●FAX:6882-7051
福祉目的募集【抽選】 (例年5月上旬)	ひとり親(配偶者のない方とその子ども(20歳未満)のみで構成する世帯)、高齢者(60歳以上)および障がい者(障がい者手帳(身体・精神・療育)等を所持していること)の方々を対象であり、各申込区分により申込資格を設定しています。申込書類は各区保健福祉センターで配布します。	ひとり親住宅/大阪市こども青少年局 子ども家庭課 ●TEL:6208-8035 ●FAX:6202-6963 高齢者向け住宅/大阪市福祉局 地域包括ケア推進課 ●TEL:6208-8060 ●FAX:6202-6964 障がい者向け住宅/大阪市福祉局 障がい福祉課 ●TEL:6208-8081 ●FAX:6202-6962
随時募集【先着順、一部抽選】	定期募集等において、応募者が募集戸数に満たなかった住戸について、先着順で随時募集を行っています。募集住戸の追加[例年、年3回(4月・8月・12月)]があり、追加住戸については、抽選で入居者を決定します。	大阪市営住宅募集センター募集担当 ●TEL:6882-7024 ●FAX:6882-7051

- **中堅層向け住宅** 公営住宅の収入基準を超えている方等、中堅所得者向け賃貸住宅(先着順)です。大阪府外にお住まいの方も申し込みができます。
- **その他の公的賃貸住宅**

住宅種別	お問い合わせ	管理者	お問い合わせ
大阪市管理 市営すまいりんぐ(子育て応援型)・市営すまいりんぐ・市営特定賃貸住宅・市営再開発住宅	大阪市営住宅募集センター募集担当 ●TEL:6882-7012 ●FAX:6882-7051	大阪府	大阪府営住宅藤井寺管理センター ●TEL:072-930-1090
大阪市住まい公社管理 公社一般賃貸住宅・公社すまいりんぐ	大阪市住まい公社募集担当 ●TEL:6882-9000 ●FAX:6882-7021	大阪府 住宅供給公社	大阪府住宅供給公社募集グループ ●TEL:6203-5454
		都市再生機構 (UR都市機構)	UR梅田営業センター●TEL:6346-3456 空室情報フリーダイヤル:0120-23-3456

民間賃貸住宅

制度名称	制度概要	お問い合わせ
セーフティネット住宅登録制度	低額所得者や高齢者、障がい者、子育て世帯等の住宅の確保に特に配慮を要する方の入居を拒まない住宅として、大阪府に登録された民間賃貸住宅を、以下のサイトで検索できます。 (セーフティネット住宅情報提供システム)https://www.safetynet-jutaku.jp/guest/index.php	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9222 ●FAX:6202-7064
サービス付き高齢者向け住宅登録制度	高齢者が安心して暮らすことができる住宅として、大阪府に登録された住宅を、以下のサイトで検索できます。 (サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム)https://www.satsuki-jutaku.jp/	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9648 ●FAX:6202-7064
大阪あんぜん・あんしん賃貸住宅登録制度	高齢者、低額所得者、障がい者、外国人、子育て世帯等の入居を拒まない賃貸住宅や、その仲介を行う協力店、入居の支援を行う団体、相談の窓口等が、以下のサイトで検索できます。 (あんぜん・あんしん賃貸検索システム)http://sumai.osaka-anshin.com/	大阪府建築部 居住企画課 ●TEL:6210-9707 ●FAX:6210-9712

※大阪市の市外局番は「06」です。※各事業の詳細は、おおさか・あんじゅ・ネット(https://www.osaka-angenet.jp/)および大阪市ホームページでご確認ください。
※補助・助成事業の利用にあたっては申請手続きが必要です。事業によって要件や受付期限が異なりますので、詳しくは窓口にお問合せください。

住まいを買う・建てる・建て替える・解体する

制度名称	制度概要	お問い合わせ
大阪市新婚・子育て世帯向け分譲住宅購入融資利子補給制度	初めて住宅を取得する新婚世帯・子育て世帯を対象に、住宅ローンの利子の一部を補助します。なお、予算の範囲内で先着順に受付します。申込みにかかる資格要件につきましては窓口までお問い合わせください。	大阪市都市整備局 住宅支援受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6356-0805 ●FAX:6356-0808
大阪市子育て安心マンション認定制度	'子育てに配慮した仕様'と'子育てを支援する環境'を備えた良質な民間の新築マンションを認定し、その情報を大阪市ホームページ等で広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9648 ●FAX:6202-7064
大阪市防災力強化マンション認定制度	耐震性や耐火性等建物の安全性に関する基準に適合することに加え、被災時の生活維持に求められる設備・施設等の整備、住民による日常的な防災活動等により防災力が強化されたマンションを認定し、広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局 まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631 ●FAX:6202-7064
大阪市エコ住宅普及促進事業	断熱性能が高く、太陽光発電や省エネ性能に優れた設備などを備えたマンション等を「大阪市エコ住宅」として認定し、広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053 ●FAX:6882-0877 ※重点対策地区および対策地区の詳細はお問合せください。
民間老朽住宅建替支援事業	重点対策地区において、昭和56年5月31日以前建築の建物を集合住宅(マンション・アパートなど)に建替える場合、建替え費用の一部を補助します。 隣地を取得した戸建住宅への建替建設費補助 対策地区において、未接道敷地や狭小敷地を解消するために隣地を売買で取得した敷地において、昭和56年5月31日以前建築の建物を戸建住宅に建替える場合、設計・解体費用等の一部を補助します。 狭い道路に面した古い木造住宅の解体費補助 対策地区において、幅員4m未満の道路に面する昭和25年以前建築(重点対策地区においては、幅員6m未満の道路に面する昭和56年5月31日以前建築)の木造住宅を解体する場合、解体費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 密集市街地整備グループ ●TEL:6208-9235 ●FAX:6202-7025 ※重点対策地区の詳細はお問合せください。
防災空地活用型除却費補助制度	重点対策地区において、幅員6m未満の道路に面する昭和56年5月31日以前建築の木造住宅を解体し、跡地を災害時の避難等に役立つ防災空地として活用する場合、解体費用及び空地整備費用の一部を補助します。 ※本制度を活用して防災空地を整備した場合、土地の固定資産税・都市計画税が非課税になります(整備の翌年以降)。	大阪市都市整備局 密集市街地整備グループ ●TEL:6208-9235 ●FAX:6202-7025 ※重点対策地区の詳細はお問合せください。

住まいを改修する

制度名称	制度概要	お問い合わせ
大阪市耐震診断・改修補助事業	一定の要件を満たす戸建住宅等の所有者に対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事・耐震除却工事に要する費用の一部を補助します。また、木造住宅の所有者に対して耐震事業者の情報を提供しています。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053 ●FAX:6882-0877
大阪市空家利活用改修補助事業	空家の利活用に向けた良質なストックへの改修を促進するため、住宅の性能向上に資する改修工事や地域まちづくりに資する用途への改修工事に要する費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053 ●FAX:6882-0877
マンション耐震化緊急支援事業	一定の要件を満たすマンションの所有者に対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事に要する費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 民間住宅助成グループ ●TEL:6208-9228 ●FAX:6202-7064
ブロック塀等撤去促進事業	道路等に面した一定の高さ以上のブロック塀等の撤去および軽量フェンス等の新設工事に要する費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631 ●FAX:6202-7064
大阪市子育て世帯等向け民間賃貸住宅改修促進事業	LDK化や断熱改修、ユニットバスの新設・改良工事等、子育て世帯等の入居に資する改修工事を行う民間賃貸住宅のオーナーに対して、改修工事費の一部を補助します。	大阪市都市整備局 民間住宅助成グループ ●TEL:6208-9228 ●FAX:6202-7064
大阪市地域魅力創出建築物修景事業(修景に関する無料相談など)	建物の修景の促進により地域魅力の創出を図るため、「修景相談」と「修景補助」を実施するとともに、修景された建物等を活かした「魅力発信等」に取組んでいます。まずはお気軽に建物の修景についてご相談ください(無料)。	大阪市都市整備局 まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631 ●FAX:6202-7064
高齢者住宅改修費給付事業	介護保険制度の居宅介護(介護予防)住宅改修費の支給を受ける方が属する世帯等で、生活支援・介護予防の観点から真に住宅改修が必要と認められる世帯の住宅改修費用の一部を給付します。	各区保健福祉センター 保健福祉課
重度心身障がい者(児)住宅改修費給付事業	在宅の重度の身体・知的障がい者、難病患者等の方が、日常生活上の障がいの除去または軽減に直接効果のある改修工事を行うとき、工事費用の一部を給付します。所得制限があります(ただし、介護保険制度が適用される方は本制度の対象となりません)。なお、必ず事前に申請が必要です。	各区保健福祉センター 保健福祉課

分譲マンション管理組合の方へ

制度名称	制度概要	お問い合わせ
分譲マンション勉強会支援アドバイザー派遣制度	分譲マンションの管理組合等が実施する勉強会を支援するため、その講師として一級建築士や弁護士などの専門家を無料で派遣し、建物の技術的な内容や法的な問題等に関する一般的なアドバイスを行います。	予約申込 住まい情報センター ●TEL:6242-1177(相談専用)
分譲マンション管理適正化支援アドバイザー派遣制度	築30年以上で管理が不適切と考えられる分譲マンションの管理の適正化を支援するため、建築士・弁護士・マンション管理士などの専門家を無料で派遣し、それぞれのマンションが抱える課題の解決に向けたアドバイスを行います。	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9224 ●FAX:6202-7064
分譲マンション長期修繕計画作成費助成制度	長期修繕計画の作成又は見直しを行う管理組合に対して、作成費用の一部を補助します。補助率:補助対象となる経費の1/3 補助限度額:1件当たり30万円	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9224 ●FAX:6202-7064
分譲マンション再生検討費助成制度	再生(改修や建替えなど)に向けた検討を行う管理組合に対して、検討費用の一部を補助します。補助率:補助対象となる経費の1/3 補助限度額:1回当たり60万円	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9224 ●FAX:6202-7064
大阪市マンション管理支援機構	公共団体や、建築、法律等の専門家団体等が連携して、分譲マンションの管理組合を支援します。登録組合には、セミナーの開催案内や情報誌等を無料で送付します。	大阪市マンション管理支援機構事務局(住まい情報センター4階) ●TEL:4801-8232 ●FAX:6354-8601



「商店街」には明確な定義がないそうです。経済産業省の商業統計表では、「小売店・飲食店及びサービス業を営む事業所が近接し」数も「30店舗以上」となっていますが、私たちが「商店街」と呼んでいるのもこれに当てはまらないものもたくさんあります。ただ、「親しみやすい」「対面での対応が中心」など、共通するイメージがあるのも確かです。個々のお店の構えがそれぞれに特徴があり、通りの両側に立ち並んだお店が町並み・「街」をなしていることも共通のイメージではないでしょうか。

近代大阪には数多くの商店街がありました。昭和13年(1938)の「大阪市内商店街二関スル調査」(商工省商務局)では、天神橋筋商店街をはじめとして心齋橋筋商店街など13の「主要商店街」が調査の対象になっていますが、これらはほんの一部でした。その起源



図1大正期の心齋橋筋(大阪府写真帖・大正3年から)

も、近世からの同業者街・市場・寺社の門前・街道筋の町並み、大規模な施設や駅の建設に付随して成立したものと、さまざまでした。

今昔館では心齋橋筋商店街のジオラマと空堀商店街の模型を展示しています。心齋橋筋は昭和2年、空堀は昭和13年の設定で、それぞれ、昭和4年にはじまる大恐慌の前で大阪の繁栄の頂点ともいえる時代と、日中戦争が始まり戦時色が加わっていく時代の商店街の様子です。心齋橋筋では通りの人びとの服装を当時の写真雑誌を参考にして作成したり、空堀ではヒアリングから得られたエピソード(地藏盆や坂道を

上る荷馬車など)を再現したり、それぞれに風俗面でも見所が多いのですが、ここでは2つの展示を店構えや町並みに注意して見てみましょう。

心齋橋筋は近世からつづく賑わいの町です。近代にはショーウィンドーをしつらえ、とりどりの看板を掲げた華やかな店構えの商店が軒を連ね、消費文化・情報発信の中心地でした。心齋橋筋をウィンドーショッピングしながら歩く「心ブラ」は都市生活の楽しみのひとつだったようです。ジオラマの掘り所は昭和2年の「心齋橋筋案内」と題したパンフレットに書かれた町並みのイラストで、周防町から宗右衛門町まで、東西の店舗の店構えが表情豊かに描かれています。今昔館では心齋橋筋の東側、八幡筋から南の宗右衛門町に至る町並みを再現しました(図3)。

江戸時代はじめの空堀は瓦土取場のまん中を街道が通るさびしい場所でしたが、次第に市街地化していき、明治末には路地と長屋がならぶ高密度居住地となります。空堀商店街は模型のなかでも少し高まったところにある街道筋の両側に発展していきました。低くなったところは瓦土取場のあとの長屋群です。まさに居住地のなかの商店街で、心齋橋筋に比べると食料品や小間物・雑貨のお店も多く庶民的な雰囲気です(図4)。

空堀では伝統的な長屋が密度高く立ち並んでいます。寄席の建物や4階建

あんじゅバックナンバーはこちら

増井 正哉
大阪くらしの今昔館館長

近代大阪と商店街
今昔館の模型・2景から

橋筋では洋風の建物が目につきます。ギリシャ・ローマ風の柱形に楕形の破風を飾った様式建築風、軒蛇腹に細かい意匠を凝らしたセセッション風、すっきりとしたモダニズム建築風など、19世紀から20世紀初めに流行した建築様式が取り入れられています。看板もアルペコ風・オールヌーボー風なども見られます。ただ、それぞれに様式を表現しているのですが、正統的なものではなく、いわば大阪らしい崩し方の「〇〇風」で、親しみのある雰囲気を感じます。写真のシーンでは近世以来の伝統的な5軒長屋がモダニズム風建築がとなり合うようににたち、新旧のコントラストが際立ちます。この時代の心齋橋筋には伝統的町家の表構えが残すお店がたくさんありました。ただ、本来は格子の構えであったところにガラス張りのショー



図2昭和20年代の空堀商店街

MESSAGE BOARD

メッセージボード

令和4年度チャレンジタイアップ事業
の実施団体が決定しました!

ユニークなテーマや仕掛けのあるセミナーを協働で実施いただける団体を募集し、右記の団体が採択されました。

- 募集時期: 令和3年9月1日から令和4年1月12日
- 審査日: 令和4年2月21日

- ※住まい情報センターと住まい・まちづくりに取り組むNPOや専門家団体等が連携・協働するセミナー・イベントを通して、市民の皆様の住環境の質や大阪の居住地魅力の向上を図るタイアップ事業を実施しています。
- ※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、セミナーを中止する場合がございます。その場合は「おおさか・あんじゅ・ネット」等でお知らせします。

応募団体名	応募タイトル名
インテリアコーディネーター協会関西	インテリアコーディネーターが推奨する防災インテリア
一般社団法人 既存住宅・空家プロデュース協会	法改正から考える空家対策・活用 法律を知って賢く対応、活用で空き家は活躍!(仮称)
一般社団法人 住宅長期支援センター	シロアリ・木材腐朽から住まいをまもる! 「わが家の健全度・セルフチェックシート」まるごと解説!(仮称)
一般社団法人 日本エルダーライフ協会	人生を楽しむために今から始める私のケア住まいのケア(仮称)

建物の修景のご相談を
お受けしています

無料

外観の特徴を活かした改修や、まちなみに配慮した整備等、市内の建物の「修景」に関することならどんなことでも。まずはお気軽にお電話で問合せください。

●修景相談の例

- ・まずは大阪市内の修景事例をできるだけたくさん知りたい。
- ・室外機や看板を整理して、すっきりしたファサード(建物の正面の外観)にしたい。
- ・建物の外観の特徴が引き立つようにライトアップで演出したい。
- ・建物全部を修景するのは大変そう。ちょっと直すだけでもいいのかな?

【お問い合わせ】
大阪市都市整備局まちなみ環境グループ
TEL:06-6208-9631



制度の詳細はこちら

●修景の事例(上: 日本聖公会川口基督教会、下: 萬代家住宅)

<p>After</p>	<p>After</p>
<p>Before After</p> <p>窓枠の塗替え</p>	<p>Before After</p> <p>掲示板の移設</p>
<p>After</p>	<p>Before After</p> <p>外壁・建具の塗替え 屋根の葺替え</p>
<p>Before</p> <p>焼杉板の張替え</p>	



図6空堀商店街の今



図5心斎橋筋商店街の今



図3心斎橋筋商店街模型 八幡筋から宗右衛門町までの東側

大阪くらしの今昔館 催し物ガイド 2022年

※新型コロナウイルス感染症拡大の防止等で、会期が変更になる場合があります。「大阪くらしの今昔館」ウェブサイト等でご確認ください。

企画展

漆造形の旗手 栗本夏樹の世界

〈みどころ〉

本展では、日本の伝統的な生活文化と密接に関わってきた漆という素材を、パブリックアートをはじめとする現代的な造形表現に取り入れてきた、大阪出身の漆造形作家、栗本夏樹に焦点をあてます。日常使いの食器や調度品といった漆のもの既存のイメージにとらわれない、自由で独特な造形の世界をお楽しみください。

◆会期: 4月16日(土)~7月3日(日)

◆入館料: 下記を参照



(左から) 草の衣、月の衣、草の衣 (撮影 斎藤 さだむ) 1999年



水の精霊(撮影 今西 徹) 2015年

イベント

ミュージアムクイズに挑戦! チャレンジ「オッター！」

今昔館の展示物についてのクイズに挑戦してみよう!
子どもから大人まで参加できます。
全問正解でオリジナルグッズをプレゼント!

◆日時: 毎日(休館日を除く)10:00~16:30

◆参加費: 無料(別途入館料必要)



大阪市立住まいのミュージアム

大阪くらしの今昔館



【8階モダン大阪パノラマ遊覧】
近代大阪の代表的な住まいと暮らしを
ジオラマや資料で再現。

天井改修工事の実施に伴う一部展示室等の閉鎖のお知らせ
現在、天井改修工事の実施に伴い、9階常設展示室および10階展望フロアを閉鎖しています。期間は、令和4年9月26日までです。

- ・8階常設展示室は、通常どおりご覧いただけます。
- ・9階、10階の閉鎖期間中は8階企画展示室に町家座敷を展示しています。
- ・8階の吹抜け部分に大型映像コーナー『まちなみシアター』を開設。江戸時代の大坂のまちなみと天保年間の人々のくらしを描いた動画をご覧いただけます。



ホームページが
新しくなりました。

開館時間 10:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 火曜日(5/3は開館) 年末年始 その他臨時休館あり
4月~6月の休館日 4/5.11~15.19.26 5/10.17.24.31
6/7.14.21.28

入館料 一般 400円/団体300円
高・大生 300円/団体200円(要学生証提示)
※団体は20名以上
※中学生以下、障がい者手帳・マイロID等提示(介護者1名含む)、市内在住の65才以上無料(要証明書原本提示)
※8階常設展と企画展をご覧いただけます

交通機関 ●Osaka Metro谷町線・堺筋線、阪急電鉄『天神橋筋六丁目』駅下車3号出口より住まい情報センター建物の地階へ連絡、エレベーターで8階へ
●JR大阪環状線『天満』駅から北へ約650m

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20(住まい情報センター8階)
TEL:06-6242-1170 FAX:06-6354-8601

ての町家に加えて、シンプルなデザイン
のモダンな風建築の店舗が目につ
きます。この店舗(図4正面建物)、裏か
ら見ると4軒長屋です。このように裏
手はそのままに表構えだけを洋風に作
り替えた建物を「看板建築」といい、全
国各地で建てられました。看板建築で
は表構えと町家本体は構造的に別物の
ため、自由にデザインができました。心
斎橋筋でも多くの例が確認されていま
す。また、通りには「すずらん灯」と呼ば
れた街灯や木煉瓦舗装も、近代大阪の
商店街らしいところです。

その一方で、伝統的な町家の表構え
をそのまま残したお店もたくさんあり
ました。通り側をすべて掃き出しの構
えにしたり(「いけいけ」と呼んだそう
です)、庇にテントを架けたりしていま
す。昆布屋さんでは業種のシンボルと
して杉丸太を表の結界に使っていたそ
うで、模型にも反映しています。

もともと、店構えには近世から業種
ごとに特徴がありました。看板や暖簾
の意匠はもちろん、庇の仕様や表の建
具にも業種ごとの傾向があったことが
分かっていきます。たとえば瓦葺の庇が
一般的であったなかで、呉服屋・菓屋が
柿葺きであったり、屋根看板と吊り看
板にも業種別の違いがありました。江
戸と京都・大坂の風俗比較を詳細に
語った『守貞謾稿』で語られたように、

近世大坂は大屋根や庇の高さが整った
町並みで壁面の仕様や建具の意匠も比
較的統一されていました。そのなか
に、目立つ工夫、お客を呼び込む工夫は
あったのです。

近代にはいると、西洋風の新しい様
式・工法も加わるようになって、店構え
はより競争的・個性的になっていきま
す。しかも時代は大正から昭和初年の
好景気で、建物の新築・増改築も進みま
した。このように近代の商店街は、多様
な時代の建物・多様な様式が集まる町
並みとなっていきます。

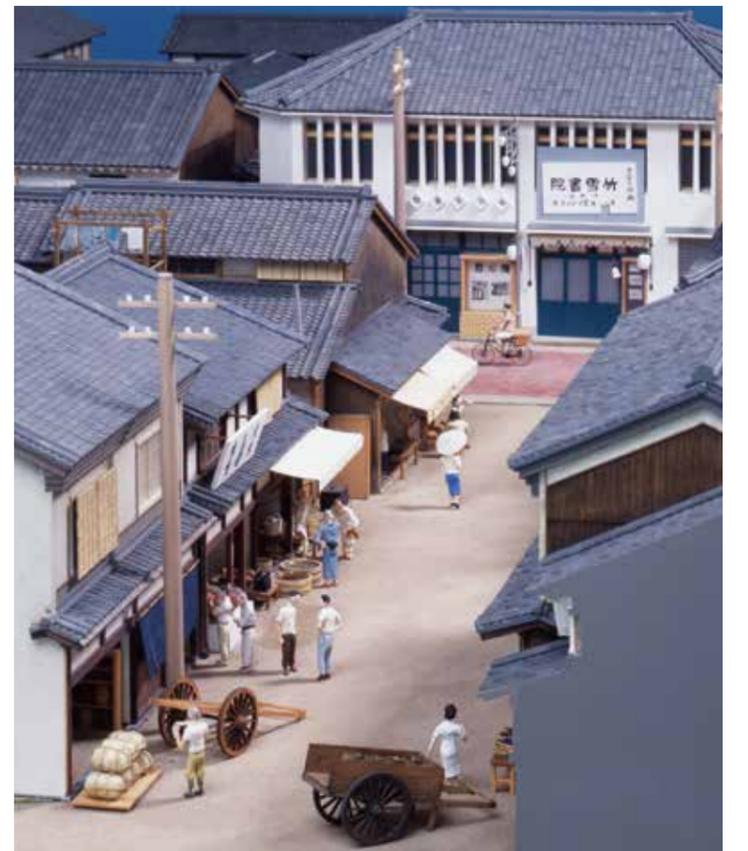


図4空堀商店街模型(南側から東西通の商店街を覗く)。正面建物前に「すずらん灯」と「木煉瓦舗装」。

現代の商店街が抱える問題に対して
各地で意欲的な取り組みが見られます。
長い時間が作り出した町並み、そこに集
う人びとの日常の風景を取り戻す取り組
みもあれば、空き店舗・シャッター街を
キャンバスに創造的な思いを描く取り組
みもあります。これらの取り組みの共通
点の一つは、個性的なお店と、お店が並ぶ
町並みを面白いと感じ、通り・軒下・空き
店舗などの空間を活用しようとしている
点です。そうした空間の細部にこだわっ
た今昔館の2景にも取り組みのヒントが
隠されているかも知れません。

※新型コロナウイルス感染症拡大の防止対策のため、ご利用の際には、マスクの着用や、手指消毒、他の方との距離を最低1mに保つなど、対策にご理解、ご協力をお願いいたします。

漆×造形

上田 祥悟 (大阪くらしの今昔館学芸員)



《宙・Sora II》栗本夏樹 2020年

(撮影 今村裕司、画像提供 現代美術興居/Sokyo Gallery)



《アジアの中の私》栗本夏樹 1995年
(アジア太平洋トレードセンター)

※企画展には出品されません

漆と聞くと、椀や箸、盆、重箱などの比較的身近にある漆器類や、金銀の文様で飾られた華やかな調度を連想する人が多いかもしれませんが、日本では縄文の頃より実用性と美観に優れた塗料として漆が多用されてきましたが、その造形は液体という性質上、常に他の素材を支持体として成立してきました。古今を問わず、一般的な漆器に多いのは木を利用した木胎と呼ばれる技法ですが、他にも竹や葛植物を編んで素地とする藍胎、薄くテープ状にした木を巻き取り成形する巻胎、和紙を貼り重ねる紙胎などが用いられてきました。また現在では、伝統的な素材以外のものを作品の土台とする造形表現も現代作家を中心に試みられています。

堺出身の漆造形作家、栗本夏樹の作風は、その初期にあたる一九八〇年代において、既に従来の漆工芸の枠を超えた大規模で独特なものでした。栗本は当時漆工の分野ではそれほど普及していなかった発泡スチロールを原型に採用することで、巨大な作品の軽量化をはかりました。さらに作品の曲面となる部分には、古代において仏像を造る際に使用された乾漆技法を用い、平面部分には、薄い合板を貼り表面を木質化することで、伝統的な漆下地の工程や塗り、加飾表現を施す方法を生み出しました。栗本の制作スタイルは、従来の漆工技法を現代的にアレンジしたものであり、その大胆な造形表現は当時大きな驚きをもって迎えられました。一九九四年、栗本は大阪南港にオープンしたアジア太平洋トレードセンター(ATC)のロビーに設置するモニュメント制作の指名コンペティションに漆造形作家として参加します。この時に選出された《アジアの中の私》が一九九六年のおおさかパブリックアート賞(一九九八年には大阪市都市環境アメニティ表彰)を受賞すると、その活躍の場は公的な空間に置かれる造形物にまで広がりました。伝統的なイメージの強い漆という素材を用いながら、パブリックアートをはじめとする新たな造形表現を先導してきた栗本は、国内外において数多くの展示を実施し、漆造形の魅力を広く世界に発信してきました。同時に、それぞれの土地で出会った文化的エッセンスを積極的に吸収し、自身の作品へと昇華してきました。その表現は現在もなお進化し続けています。

令和四年四月一六日(土)から七月三日(日)の期間中、大阪くらしの今昔館では企画展「漆造形の旗手 栗本夏樹の世界」を開催します。会場では自然の力による造形をコンセプトにした栗本の初期作品から、「漆、いのちの再生」のテーマのもと、伝統的な蒔絵技法の中に新素材を使用した最新作までを一堂に集めて紹介します。従来の漆のイメージにとらわれない自由で独特な造形の世界をお楽しみください。